

第2期やまのべ総合戦略の評価・検証について（令和6年度）

1. 第2期やまのべ総合戦略について【計画期間：令和2年度～6年度】

町では、平成27年に今後目指すべき将来の方向と人口の将来展望を提示する「やまのべ人口ビジョン」と、今後5年間の目標や施策の基本的方向、具体的な施策をまとめた「第1期やまのべ総合戦略」を策定し、地方創生の取り組みを進めてきました。

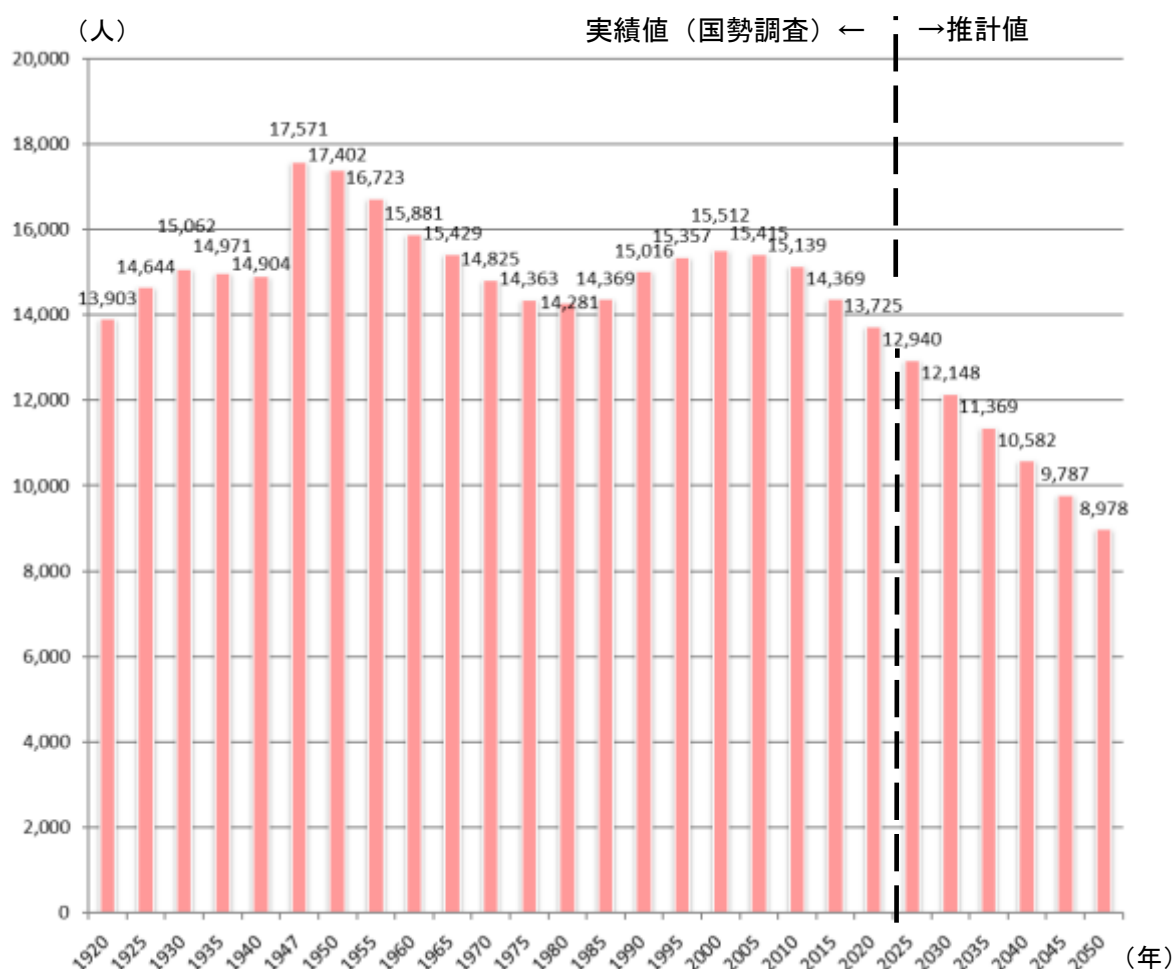
令和2年度からは、町の特性と第1期の課題を踏まえ、「第2期やまのべ総合戦略」を策定し、引き続き“子どもと育つ町”、“高品質で町づくり”を大方針として、人口ビジョンで定めた2060年の目標人口“10,500人”の達成に向け、「雇用をつくる」、「ひとの流れ（移住）」、「結婚・出産・子育て」、「連携・安全安心・その他」の4つの分野において地方創生に資する施策に取り組んできました。

2. 人口動向

（1）総人口の推移

2025年以降は国立社会保障・人口問題研究所（以下社人研）の推計値ですが、一貫した減少傾向が続き、2020年には1920年時点のこれまでの最小人口を下回り、2045年には1万人を割り込むと推計されています。

長期人口動向（2025年以降は社人研推計値）



（２）出生・死亡・転入・転出の推移

社会増減では、転出者が転入者を上回り、純移動数のマイナスが続いています。全国的な傾向である人口減少・少子高齢化、若者の流出等の影響から本町においても厳しい状況が今後も継続することが予測されるため、施策の強化や各課横断的な施策の展開が必要となっています。

(人)

| | | H 2 7 | H 2 8 | H 2 9 | H 3 0 | R 1 | R 2 | R 3 | R 4 | R 5 | R 6 |
|------|-----------------------|-------|-------|-------|-------|------|------|------|------|------|------|
| 人口増減 | 増減 (c) + (f) | △112 | △102 | △118 | △180 | △146 | △183 | △150 | △186 | △177 | △192 |
| 自然増減 | 出生者数(a) | 89 | 85 | 89 | 69 | 69 | 59 | 67 | 59 | 67 | 58 |
| | 死亡者数(b) | 188 | 189 | 177 | 214 | 207 | 208 | 190 | 229 | 215 | 195 |
| | 増減 (c) = (a) - (b) | △99 | △104 | △88 | △145 | △138 | △149 | △123 | △170 | △148 | △137 |
| | 転入者数(d) | 361 | 343 | 312 | 300 | 338 | 276 | 325 | 306 | 302 | 309 |
| | 転出者数(e) | 374 | 341 | 342 | 335 | 346 | 310 | 352 | 322 | 331 | 364 |
| | 増減 (f) = (d) - (e) | △13 | 2 | △30 | △35 | △8 | △34 | △27 | △16 | △29 | △55 |

(注) 各年度の人口は、住民基本台帳による。

3. 第2期やまのべ総合戦略の評価・検証について（令和6年度） 資料4 参照

第2期やまのべ総合戦略では、計画期間初年度において新型コロナウイルス感染症の拡大により社会情勢が大きく変化したことから、その影響を考慮しながらも、毎年度PDCAサイクルによる検証を行いながら事業の改善に努めてきました。このたび、令和2年度から令和6年度までの5年間の計画期間が終了したため、これまでの取り組みの成果を総括し検証を行うとともに、5年後の目標値（KPI）の達成率に基づき総合評価を行います。

また、外部有識者等で構成される検証機関（山辺町地方創生・人口減少対策有識者会議）において、専門的見地から客観的に検証を行うことで、広く意見を聴取しさらなる事業の改善につなげていくこととします。

【評価・検証について】

令和6年度における各分野のKPI（目標値）及び取組状況に対し、ご意見をいただき検証をお願いします。